



新着図書紹介

新しく図書館に入った本を紹介します。

一般

- 図書館奇譚 村上 春樹／著
- イスラム国の正体 黒井 文太郎／著
- 感じて描く漢字アート 崩し方編 関 紫芳／著
- 保存びんに、季節とおしさ詰め込んで。 ダンノ マリコ／著

児童

- 十代に贈りたい心の名短歌100 田中 章義／編著
- 声優さんになりたいっ! 81プロデュース／監修
- 集中力&計算力アップ! かならずわかる! はじめてのそろばん 堀野 晃／監修
- 妖怪ウォッチおはなしえほん レベルファイブ／原作・監修

今月のおすすめ本



福も来た
パンとスープとネコ日和
群 ようこ／著 角川春樹事務所

素材にこだわり、手間ひまをおしまない美味しいサンドイッチと滋味深いスープ。編集者を辞めた後、自分らしいお店を営んでいるアキコは、愛猫を失った悲しみを抱えつつも、温かな人々に助けられ、日々を丁寧に生きています…。



すぐに折れる!
高齢者の楽しい折り紙レクリエーション
津留見 裕子／編著 ナツメ社

箱や箸置きなどの使える折り紙から、季節の折り紙、動かせる折り紙、アレンジ自在の切り紙まで、介護の現場で役立つ作品を全100点掲載しています。



算数なるほど大図鑑
考える力が身につく! 好きになる
桜井 進／監修 ナツメ社

できるだけ身近な例を交えて、算数の面白さをたっぷり紹介。1テーマ・1見開きの構成を基本とし、写真とイラストを盛り込んでコンパクトに解説する。各テーマに関連する豆知識も掲載されていますよ。



ぶうぶうぶう
おーなり 由子／文 はた こうしろう／絵 講談社

おかあさんが子どものほっぺに息を吹きかけて「ぶう」をすると、子どもは笑顔いっぱい。親と子どものスキンシップタイムの楽しさが満載の1冊。2人の著者の子育て経験から生まれた絵本です。

読書の扉



今年のNHK大河ドラマは「花燃ゆ」。幕末の偉人・吉田松陰の妹、文が主人公のドラマです。文は今まで注目されなかった人物ですが、「幕末明治動乱「文」の時代の女たち」(熊谷 充晃／著) には、文の人生が細かく紹介されています。兄・松陰のことを扱った本も多数。「清水義範のイッキによめる! 日本史人物伝 戦国時代～幕末激動編」(清水義範／著) は児童書なので、小学生でも読める本です。松陰は女性に苦手で話かけられても上手く喋れなかったそうです。面白いエピソードですね。そんな、文と松陰が生きた場所・長州(山口県)を巡りたい時は「幕末「長州」史跡散歩」(一坂 太郎／著) がおすすめです。松下村塾や萩城跡など、地図と写真で紹介しています。その他、関連本・大河ドラマのノベライズなど購入予定です。今年は女性目線での幕末を感じてみませんか?

～図書館ではカバンをロッカーに入れましょう～

3月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

開館時間 10:00～18:00